

2016年5月10日

日本共産党埼玉県委員会

ご近所のみなさん。日本共産党です。

みなさん、安倍政権の3年間。鳴り物入りですすめられたアベノミクス。私たちのくらしはよくなったでしょうか。大企業は、史上最高益で内部留保は300兆円を超えましたが、働く人たちの賃金は下がりっぱなし、そのうえ、消費税8%で、多くのご家庭は悲鳴を上げているのではないのでしょうか。異常な「金融緩和」で、もうけたのは大株主と大企業だったではありませんか。こんなアベノミクスはきっぱりやめるべきではないのでしょうか。

みなさん、日本共産党は、こうしたアベノミクスは、ただちに中止し、格差をただし、公正な社会の実現に、3つの改革・チエンジの実現に、取り組みます。

その第一は、税金の集め方の改革です。

所得の低い人に重くのしかかる消費税。一昨年8%増税で、内需を冷やし、景気を破壊しました。安倍首相も、「消費は予想以上に落ち込み」と失敗を認めています。10%増税はきっぱり中止すべきです。それこそが最大の景気対策ではないでしょうか。

そして、アベノミクスで潤った富裕層や大企業から、「負担能力にに応じて」負担を求め、国民生活に必要な財源をつくります。

第二に、税金の使い方を、くらし優先に改革することです。

年金削減の中止、医療費の窓口負担の軽減、介護保険の負担軽減、特養ホームの待機者をなくす、など、税金の使い方、社会保障最優先、くらし優先に改革します。

「保育園落ちたのは私だ」と、社会問題になった待機児問題。国の責任で、緊急に30万人分の認可保育園を増設し、保育士の待遇改善をおこない、必要なすべての子供が保育園に入れる日本をつくります。また、異常に高い大学の学費の負担改善に、大学授業料を半額に引き下げ、給付式の奨学金制度を創設し、安心して学べる大学教育を目指します。

第三に、ブラック企業根絶、最低賃金の抜本的引き上げなど、働き方の改革をすすめます。

労働者派遣法の抜本改正、同一労働同一賃金の法制化で、非正規から正社員への流れを作ります。中小企業への支援を強め、最低賃金は今すぐ「1000円」に。さらに、「1500円」をめざします。また、長時間過密労働、サービスマン残業などの規制強化で、ブラック企業をなくします。

日本共産党は、こうした3つの改革をすすめて、くらし最優先の政治をすすめます。

日本共産党は、こうした改革をめざすとともに、憲法違反の戦争法を廃止し、立憲主義を取り戻すために、野党共闘の勝利と日本共産党の躍進、定数3の埼玉で、伊藤岳党派民運動委員長を先頭に、自民・公明を少数派に追い込むために、全力をあげています。くらしを守る最も確かな力・日本共産党を大きく伸ばしてください。

最後に、日本共産党と伊藤岳党派民運動委員長へのご支援、そして、日本共産党の「しんぶん赤旗」のご購読をお願いし、訴えを終わらせていただきます。ありがとうございました。

以上